



## NEWS RELEASE

報道資料  
2010年3月9日  
(日本時間)

### アプライド マテリアルズ 現金配当の引き上げと 20 億ドルの株式買戻しを発表

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 3 月 8 日 (現地時間)、四半期現金配当を 17%引き上げ、1 株当たり 0.07 ドルとすることを同社取締役会が承認したと発表しました。配当金は 2010 年 5 月 26 日時点の登録株主に対し、2010 年 6 月 16 日に支払われます。前四半期の現金配当は 1 株当たり 0.06 ドルでした。アプライド マテリアルズ取締役会はさらに、2013 年 3 月までの 3 年間に最大 20 億ドルの自社株式を買い戻す新たなプログラムについても承認しました。

会長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「当社は強固な財務状況と営業キャッシュフローを活かし、全事業分野において成長機会に投資するとともに、現金配当の形で株主の皆様へ利益を還元します。この増配は、当社が短期的および長期的な成長と利益見通しに自信を持っていることの表れです。自社株買戻しプログラムは、剰余金を株主の皆様へフレキシブルに還元するための手段です」

2010 年 1 月 31 日現在、アプライド マテリアルズの発行済普通株式数は、約 13 億 4,000 万株でした。

### 将来予想に関する記述について

本プレスリリースには、当社の財務ポジション、業績見通し、現金の創出と活用に関する戦略その他、将来の見通しに関する記述が含まれています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と大きく異なる場合があります。このようなリスクや不確定要素としては、①当社製品への需要のサステナビリティ (グローバルな経済・業界動向の不確実性、エレクトロニクス製品や半導体への需要、顧客企業の生産能力と新技術へのニーズほか、多くの要因の影響を受ける)、②当社が(i)広範な製品を開発・提供・サポートして既存市場を拡大する能力、(ii)コスト構造をタイムリーに事業環境に適合させる能力、(iii)サプライチェーンを含めたリソースや生産能力を計画・管理する能力、(iv)グローバルな業務と効率の向上に向けた各種イニシアチブを実施する能力、(v)買収した事業を効果的に統合する能力、(vi)主要

テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力、(vii)主要社員を引き付け、意欲を高め、定着させる能力、③その他、当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類に記載しているリスクがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.amat.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 3 月 8 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

投資家関係:

Applied Materials, Inc.

インバスターリレーションズ: 矢野 悦子 (Tel: +1-408-986-2646)

etsuko\_joslen@amat.com

メディア関係:

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

社長室: 大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801)

ホームページ: <http://www.amat.com>

---